

連携先	SuperStream / CSV	利用シーン	業務自動化	業種	製造業
-----	-------------------	-------	-------	----	-----



内製化で開発期間を1/2以下に短縮 ユーザー要望に即応できる開発体制を構築

ユーザーは必要な社内データをいつでもExcel / CSV形式で入手可能に

株式会社 協成

大阪府大阪市西区千代崎3丁目1番3号
URL <http://www.kyosei.com/>
従業員数 335名 (2017年3月末現在)

導入背景

株式会社 協成は、ガス・水道の配管機材の製造・販売を行うメーカー。19ある営業所がそれぞれ4工場から製品を仕入れ販売を行っている。工場や営業所には基幹システムへのアクセス権を付与していないため、長年に渡り情報システム部員（5名）が依頼に応じ都度必要なデータの抽出、加工を行う個別サービスを実施してきた。この個別対応を改善するためBIツール（Dr.Sum）とデータ受け渡しのためのEAI製品を導入したが、導入したEAI製品はプログラミングスキルの高い情報システム部員1名しか使いこなすことができず、Dr.Sumにデータを受け渡す以外の用途には活用が進まなかった。

課題

- 5名の情報システム部員に社内外から多様な要望が寄せられ負担となっていた。
- システム開発を全て外注していたため、仕様の打ち合わせやテストに時間がかかりユーザー要望に即応できなかった。
- 導入したEAI製品は、個々のデータマッピングの際にスクリプトを記述しなくてはならない仕様だったため、プログラミングスキルの高い1名の社員しか使いこなせず、内製化が進まなかった。

導入

- EAI製品をASTERIA Warpにリプレース。ノンプログラミングで容易に開発が可能となり、初心者も含め開発3名体制を実現。
- 属人性を廃するため、Dr.Sumへのデータ受け渡し処理をASTERIA Warpで再開発。
- これまで外注していたEDIに必要なデータ抽出処理も新規開発分よりASTERIA Warpで実施。
- 生産管理部が収益の計算に利用する月次売上情報の取得作業をASTERIA Warpで自動化。

効果

- 直感的な操作で開発できるようになり、高いプログラミングスキルを持たない部員でも開発が可能に。
- 内製化により開発期間を1/2以下に短縮し外注コストも削減。
- EDIに必要な特定顧客の納品データ抽出フローを1日で開発。仕様変更にも柔軟に対応し、ユーザーより高評価を得る。
- 収益の計算が即行われるためその月の収益を同月内に把握可能となった（従前は1ヶ月遅れ）。

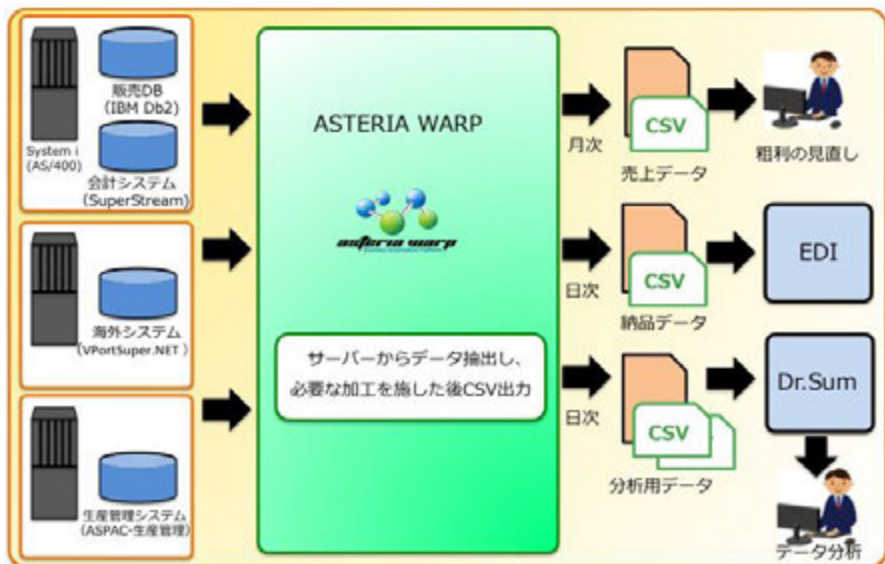
ASTERIA Warp選定理由

- EAI製品未経験の情報システム部員3名がEAI製品3製品を比較・検証したところ、全員ASTERIA Warpが最も使いやすいと判断。
- ASTERIA Warpはどのコンポーネントを使えば良いのか直感的に判断できるため、従前のように何を質問したら良いのかわからない状況に陥らない。
- プログラミング経験が不要のため、部内展開がし易い。

今後の予定

- 今後新たに発生するデータ連携についてはASTERIA Warpで連携することで徐々に内製化比率を高めていく。
- 情報システム部門全員がASTERIA Warpを活用できる開発体制に。

利用イメージ



お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



ASTERIA Warpは「コンポーネント」アイコンで直感的に機能が判別できるので、初心者でも抵抗感なく利用でき、部内に浸透させ易かったです。営業や技術担当のサポートも良く、長期に渡り安心して使用できる製品だと考えます。



ASTERIA Warpを使うことでユーザー要望に素早く応えることができるようになりました。依頼を受けるとすぐに着手できるので依頼者には好印象のようです。

管理本部 情報システム部
グループ長 小林 守 様

管理本部 情報システム部
原田 昌樹 様